

令和5年度「国際交流特別講義」を紹介します。

新型コロナウイルス感染症の流行下において、国際交流に関心はあっても活動は難しい状況が続いていました。そこで、異文化理解・国際的視野を涵養することを目的に、国際交流委員会・看護学科国際交流係において国際交流特別講義を企画し、今年度で第3回目の実施を迎えました。

2023年7月7日に看護学科、臨床検査学科1・2年生を主な対象として、ラオスなどでの国際的な保健医療活動でご活躍されてきた看護師の松尾潤子氏を講師として招き、本学において特別講義「国際協力の世界」をしていただきました。

聴講した学生からは、「外国に行って活動することについて、言葉が通じなくて怖いからあまり積極的に考えられなかったが、講義を受けて、今まで学んできた英語でもなんとかやっていけて、海外に行ってみることが大切だと感じるようになった」「一度は海外で活躍してみたい」「講義を聞いて、英語を勉強するモチベーションがあがった」「文化の違いを考慮して看護をする必要があることを学んだ」という感想がありました。アンケートに回答した学生の9割以上が、この特別講義受講により国際交流に関心をもつことができたと答え、国際交流特別講義が、今後も引き続き開催されることを希望しています。国際交流特別講義が、本学学生の知的好奇心を喚起し、国際感覚を磨くきっかけとなることを願っております。

国際交流委員会・看護学科国際交流係

国際交流特別講義
国際協力の世界
R5.7.7 (金) 14:40~16:10 大講義室



講師：松尾 潤子先生
6月までJICAで活動されています

対象：学部1・2年生（英語・IIIの受講生は必須）
他の学生、教職員におかれましてもご 関心のある方はどうぞ
JICA（独立行政法人国際協力機構）で活躍されていた講師から、カンボジア、ラオスなどでの活動内容をお伺いすることにより、国際的な視野を身につける一助となることを期待しています。

国際交流委員会・看護学科国際交流係 共同開催

